



# かわみなみ 議会だより

QRコードから  
3月定例会の  
議事録がすべて  
見られます。



令和6年(2024年)  
6月1日発行

No.144

# 令和6年度当初予算 135億9900万円

東町長が病氣療養となり、町政運営方針が示されない中での当初予算となった。修正案が出されたが、賛成・反対同数となり議長裁決で修正案は否決となり原案通り可決された。

## 75歳以上のタクシー料金助成・・・732万円

- ① 対象者・・・75歳以上
- ② 補助内容・・・基本料金610円補助
- ③ 1人24枚配布
- ④ 利用期限 令和6年12月31日迄
- ⑤ 12月31日迄の実証実験となる

## 今年も特産品送料無料6500万円

4月中旬より開始。(4月23日～)

**委員会意見**・・・自主財源で事業を継続させるなら一定の負担をお願いする事も必要ではないか。

## 企業誘致支援業務委託料996万6000円

**委員会意見**・・・人口が減少し生産年齢層における担い手不足が顕著となっている。町内事業所や新規創業の支援策に資金を投入すべき。

## 道路改良工事・設計予算

### 下野田・勝司ヶ別府線・・・6227万円

令和6年度で完成



### 南中須・東原線測量設計・・・400万円

### 別途用地買収・・・200万円

上町・南中須線と国道十号線接合部(南側)の改良工事を計画するにあたり同路線の接合部を改良する。



### 二ツ橋・新橋線測量設計・・・400万円 // 改良工事・・・3000万円

新橋住宅周辺の児童の通学路で交通量も多く危険なため拡張工事(L240m)を予定



### 多賀地区通学路改良工事に伴う設計・調査・測量業務・・・1060万7000円

多賀地区からの要望で現況幅員3.4mを5mプラス2m歩道付とし延長260mを改良。R7年度から用地買収・工事。R8年度迄に完了。



## 川南小学校のプール一般に開放・・・705万6000円

・日曜日を除く夏休み期間の約30日間解放する

- ① プール監視業務委託・・・305万6000円  
(県内事業者委託)
- ② プール周辺改修工事・・・400万円

**委員会の意見**・・・プールの監視に一日10万円必要。全国でもプールの事故のリスクを行政が負うことに疑問が生じる。今後町営プールを改修するより、隣町にあるプールの活用を支援した方が良いのではないか。

## 屋根付多目的運動場の南側駐車場を改修

設計委託料・・・900万円

現在の20台から60台へ拡張する予定。



# 修正案が出された予算

**否決**

## 自治公民館活動費・・・3519万円を2657万円に減額

### 各自治公民館活動費

中央地区(1,930世帯)6,411,000円  
 東地区(1,075世帯)5,652,068円  
 通山地区(1,359世帯)5,648,998円

西地区(1,465世帯)6,086,000円  
 山本地区(580世帯)5,466,000円  
 多賀地区(675世帯)4,998,760円

注：交付決定額による為、予算額と一致しない。

### 修正案の提案理由

- ① 報酬増額は役員のなり手不足の決め手になっていない。令和2年にも館長報酬は増額しているが課題解決になっていない。
- ② 町長もタウンミーティングで2年間掛けて自治公民館制度のあり方を議論すると言っ

- てる中で報酬のみを増額するべきではない。
- ③ 町長の行政運営方針が示されない中の予算計上で、増額する協議が担当課を抜きにして町長、及び副町長と館長のみで行われた。

## スマートインターチェンジ基本計画策定業務委託料・・・2500万円

### 修正案の提案理由

- ① 地域ニーズの把握や高度医療アクセスへの課題把握、企業誘致や就業者の増加に対する整備効果の予測、その前提となる目指す企業誘致のビジョンが不明。
- ② 長期総合計画との位置付けはどうするのか、議論の積み重ねがあるべきでこのような事業を行う際には庁舎内で横断的なプロジェ

- クトチームなりを立ち上げ調査検討し、議会にも考えを事前に示すべき。
- ③ 北は都農インターチェンジ、南は高鍋インターチェンジがあり、その距離は12キロの間にある川南パーキングエリアにスマートインターチェンジが本当に必要なのか疑問である。

## 運動公園プール改修基本計画策定業務委託料・・・350万円

### 修正案の提案理由

- ① 改修計画ですでに440万円を使い示されたのはプールの改修には最低でも3億円以上の費用を要するとの内容。
- ② 町営プールの改修は町民の利益になるのか。
- ③ すでに策定した改修計画をもって町民アンケートを実施すべきと考える。

- ④ 老朽化により既に廃止をしている施設の再開を前提に350万円をかけて基本計画を策定する前に、プールの必要性は理解するとして、それが猛暑に年間40日しか解放しない3億円もかかる屋外プールである必要性はどこにあるのか。

## 原案に賛成討論(修正案に反対)・・・蓑原敏朗

- ① 現制度が分館制度からの移行にあたり行政指導で行われた、行政が責任をもって検討すべき課題だが、活動交付金減額に結びつけるには飛躍しすぎて、現在の関係者の活動意欲をそぐ。
- ② スマートインターを設ける事による効果や活用を考えるべき、無駄な予算に終わらせ

- ないように活用すべき。
- ③ 運動公園プール改修基本計画策定業務の減額については夏に水に親しむ場として河川とか不可能な状況でプールしかない。国の補助を活用するための計画策定業務は必要である。

# ～文化ホール及び図書館の

## 新たな管理者の名称及び代表者

名 称	かわみなみフロンティアネットワーク
代表者	一般社団法人 みやざき公共・協働研究会
代表理事 原 田 隆 典	

川南町文化ホール及び川南町立図書館の新たな管理者として「かわみなみフロンティアネットワーク」が提案され議長裁決により決定した。一連の指定管理者の選定を巡っては、プロポーザル審査によって選ばれた事業者が積算根拠書類不備という理由により失格となった。また、副町長がその失格理由について審査委員全員の同意を取っ

ていないにも関わらず、全員の同意を得たとする公文書を作成し株式会社図書館流通センター（以下、TRCと言う）へ送付するなどの選定手続きが行われたことに対し質疑が相次いだ。

討論では反対討論者が6名、賛成討論者が4名登壇。それぞれの判断理由に多くの傍聴者が耳を傾けた。

## 主な賛成討論の内容

### 「三原明美」

- 図書館に来てもらうための努力をされているようにはとても思えない。ドームの貸し借りの面で職員さんの方の態度が横柄に感じるがあった。5年間という長い契約でマンネリ化をうんでいるのではないか。東京の企業でなくても地元の企業を使ってもいいのではないか。

### 「河野禎明」

- 10年前に図書館長をされていた方は、評判が良い人。こういう人材がいる会社が今度応募してきた。3年間の積算根拠書類を見たが、非常に詳しく書いてあり、働く人もボーナスがちゃんと確保してある。メンバーの中の本田さんは劇団運営とかされている。サンAドームのイベントもみんなが喜ぶような可能性もある。東京の全国で600か所も持っている大きな会社じゃなくて、地元の会社を育てることが必要ではないか。

### 「蓑原敏朗」

- 議案第2号を賛成の立場で討論する。今回の指定管理者の提案で、提案者・事務取扱者の事務処理が多くの混乱を招いたことは大いに反省すべきだ。それらを総合的に考慮したうえで、町の大事な文化ホール図書館を町民に利用促進することによって町民の福祉向上に繋がることが唯一最大の願いであり目的。2社の指定管理申請書類を拝見したが、ここは今回提案の川南フロンティアネットワークに期待するしかないと判断した。

### 「乙津弘子」

- 執行部の不備は大いにあるが、不正ではなく手違いないしは勘違い。また、教育委員会の中での連絡がいまいちだったのではないか。図書館で大事なものは、ゆっくり読めること。TRCは、10年されていた。暖かい、ゆっくりできる図書館を作ってもらえてないような気がする。

※討論の全文については、  
議事録を参照

川南町議会会議録

↓  
令和6年定例会・臨時会

↓  
令和6年第1回(2月)臨時会



QRコードからも  
アクセス出来ます。

# 新たな指定管理者が決定～

## 主な反対討論の内容

### 「小嶋貴子」

- 通常10月なのに募集が12月に行われたのはなぜか。ホームページ上でTRCが指定管理者に決定したと掲載してすぐに削除したのはなぜか。失格について申請書類の不備としているが、発表プレゼン時になぜ伝えなかったのか。これらの疑問に十分な説明責任を果たしていない。できたばかりで実績のない事業者に20点以上も差をつける審査委員が2人いるが、厳正かつ公正な審査が行われたのか。TRCを落としてフロンティアを有利にする意図が見て取れる。

### 「徳弘美津子」

- 審査日以降に各委員へ申請書に不備があったことを説明し、失格とすることを委員全員が同意したとあるが、この同意を取り付ける行為は、TRCに(失格)通知があった2月1日以降である。同意取り付けに副町長が回ったが、全員の同意は取り付けていない。積算根拠書類は両事業所とも出されている。何の落ち度もなく公平に審査された結果を、そのような事実に関して教育委員会は、住民に、TRCに説明ができるか。議会としてこのような議案を通すようでは住民にとっても顔向けができない。

### 「中瀬 修」

- 1月17日にプロポーザル審査が行われ、結果として、TRCが確定し、ホームページに掲載されたが、ある時期削除された。書類の不備が理由で失格という形で今回の取り下げになったことにとっても驚いているし不満を感じている。こういう審査が行われる委員会があつてしかるべきものなのか、次点であった団体に町の図書館をお願いするというのが本に正しいのかどうなのか、すごく不安である。

### 「米田正直」

- 川南町文化ホール図書館複合施設指定管理者選定委員会においてプロポーザルによる審査が行われ、その結果は審査会翌日にホームページにて掲載された。TRCが今回提案されている川南フロンティアネットワークを審査得点で上回った方である。ところが、TRCは指定管理者候補第1位の座から意味不明の失格理由を挙げ引きずり下ろされている。このような理解しがたい提案については毅然たる態度で反対するものである。

### 「児玉助壽」

- 1月31日の議会運営委員会では提案は候補第1位のTRCになっていたが、差し替えを求められたあと提案が川南フロンティアネットワークになっていた。書類不備を理由に失格することについて同意を得ていると。審査で決定したTRCを失格にするということで、監査委員が賛成討論したが耳を疑った。これを議決した場合は、TRCが本町に対して損害賠償を訴えるのではないかと。それを想定しないという執行部を含め議決する議会、そして選定委員会の品格を問われる議案である。

### 「中村昭人」

- 公募開始の遅れや指定期間変更の指示、審査における一部の審査員のあまりに偏った点数配分、一部の審査委員による議員への働きかけ、後付けの理由での失格通知。審査員全員の同意を得ないまま失格通知を送付したこと、全員の同意を得たと虚偽の内容を真正であるべき公文書に記載したこと。これが不正でなければ世の中の公文書は信用をなくす。公平に選ばれたものとは思えない。行政が不正を働く町だと思われることは町民にとって大きな損失だ。

# 聞いてみました

## 入学祝い金支給

**Q** 例えば自転車や制服等を購入する段階で支給をすべきと思う。今後は出来るだけその年度内に支給できる様に予算を組むと良いと思う。

**A** 来年度になって入学式までに振込の口座等を確認させていただいて、速やかに現金を振り込むという形で手続をしたいと考えているところである。

## 道路改修緊急対応

**Q** 道路維持費の緊急対応測量設計等業務委託料800万円と緊急対応工事請負費4,000万円についてうかがうが、どれだけ緊急性があつたのか。

**A** 緊急対応工事関係につきましては、以前から町民の皆様から要望があり、道路幅が狭く危険であることで、より危険性が高いものから実施する予定。

## 道路拡張予算

**Q** 測量設計業務委託と工事請負費が同時に予算化されているがということなのか。

**A** 今回拡張を予定しておる道路については、主に拡張部分がほとんどが町有地ということになり、それほど難しい測量業務がないので、単年度で両方ともできるということ。

## 学校図書の実施

**Q** 小学校の図書購入費が360万円、中学校のほうが225万円とある。これは、例年の5割増しという感じ。この辺のいきさつ。全国紙の導入についても。

**A** 学校図書充実費用として、時限を3か年に区切って学校図書の充実を図るということで、今回、大幅な予算増額をしている。ちなみに小学校費、昨年度が5校合わせて97万8,000円を360万円まで増額をしているところ。

それぞれの学校の図書室の本が古くなっていて、時代に合わなくなったような本というのもたくさんある。教育委員会では、子供、児童生徒の読解力の向上というのを目指している。

図書の充実事業の中でということで、消耗品として確保して、全国紙のほうを各、両中学校の図書室のほうに備えおいて、いろいろ学習等に使うことで考えている。

## 福祉事業の委託料に係る消費税の取り扱い

**Q** 障害者相談支援事業過年度委託分補償金。平成30年度から令和2年度までの5年分の消費税額と延滞税額を補償金として委託先事業者に支払うというのは延滞税額分の繰り越しとなる。公金を扱っているという認識を改めて持って仕事をしてもらおうと、こういう事例は起きないのでは。

**A** 本税の消費税を納付することによって、延滞した期間が確定して、延滞税額が確定する。事業所にその金額の通知があるのが令和6年になると見込まれ、その後事業所が支払いをするので、令和6年度に繰り越しというふうにしたもの。

## 常任委員会から

狂犬病予防注射手数料については、登録頭数に対する割合は70.6%。西都児湯地域では、本町が一番接種率が高いとの説明であったが、狂犬病は極めて致死率の高い感染症であるから、その危険度を広く啓発し、接種率ほぼ100%にすべきとの意見があった。

# 令和6年2月臨時会・3月定例会 議事賛否表

議席番		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議	
		議員氏名	乙津弘子	内藤逸子	蓑原敏朗	田中宏政	河野禎明	児玉助壽	中村昭人	米田正直	中瀬修	小嶋貴子	三原明美	徳弘美津子	河野浩一
賛否表示・・・○は賛成、●は反対 議は議長の略															
除斥・・・・・・地方自治法第117条の規定により 採択時は離席をする															
令和6年第1回(2月)川南町議会臨時会 令和6年2月5日(月)															
全員が賛成し承認・可決した議案															
専決処分の報告について	川南町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	工事請負変更契約締結について													
令和5年度川南町一般会計補正予算(第6号)	令和5年度川南町電子地域通貨事業特別会計補正予算(第4号)														
賛否が分かれた議案		結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議
川南町文化ホール及び川南町立図書館の指定管理の指定について 賛成討論 4名 反対討論 6名		可決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	
令和6年第1回(3月)川南町議会定例会 令和6年3月1日(金)～令和6年3月19日(火)															
全員が賛成し承認・可決した議案															
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	川南町番号法に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について														
川南町介護保険条例の一部改正について	川南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について														
介護保険関係基準省令の改正に伴う関係条例の整備について	川南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について														
令和5年度川南町一般会計補正予算(第7号)	川南町水道事業給水条例及び川南町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正について														
令和5年度川南町介護保険特別会計補正予算(第2号)	令和5年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	令和5年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)													
令和6年度川南町国民健康保険事業特別会計予算	令和6年度西都児湯行政不服審査会特別会計予算	令和6年度川南町介護認定審査会特別会計予算													
令和6年度川南町介護保険特別会計予算	令和6年度川南町後期高齢者医療特別会計予算	令和6年度尾鈴地区畜産用水管理事業特別会計予算													
令和6年度川南町電子地域通貨事業特別会計予算	令和6年度川南町水道事業会計予算	令和6年度川南町下水道事業会計予算													
賛否が分かれた議案		結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議
令和6年度川南町一般会計予算に対する修正案 発議者 中村・中瀬 賛成討論1名		否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●
令和6年度川南町一般会計予算 賛成討論1名		可決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	●	○
議員発議															
発議第1号 川南町文化ホール図書館複合施設の指定管理の指定につき、地方自治法第100条による事務の調査をするための特別委員会を設置する決議案 発議者 中村・中瀬 賛成討論5名 反対討論3名		否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
発議第2号 地方自治法第180条第1項の規定に基づき町長において専決処分をすることができる事項の指定についての一部改正について 提出 内藤 賛成 徳弘・児玉		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議第3号 徳弘美津子議員に対する問責決議案 提出 内藤 賛成 乙津・田中・河野禎・三原 賛成討論2名 反対討論2名		否決	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	○	除斥	議

# 一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。

一般質問の全文についてはQRコードから見れます。



## 南海トラフ地震災害を予測しての防災について

内藤 逸子

**【問1】** 今後発生が予測されている南海トラフ地震災害について、2019年12月時点で川南町は全壊3,400棟、半壊2,500棟、死者600名、負傷者850名の想定がされていたが、あれから約4年が経過し地域防災計画の被害想定はどうなっているのか。

**【答1：建設課長】** 川南町では、川南町建築物耐震改修促進計画を平成21年3月に作成し本町の取組としては、国や県と協力し、川南町木造住宅建築物等耐震対策促進事業を平成18年度より行っている。建物の耐震性を診断する耐震診断に13万円の補助や診断後の耐震改修工事に最大100万円の補助を行っている。

### 補聴器の助成制度の導入を求める

**【問2】** 目の悪い方が眼鏡をかけるように、聞こえづらい、聞こえにくい方が、日常生活を送る上で補聴器を使用するのは当然。補聴器は高価で、しかも性能に比例して価格も上がるため年金暮らしの高齢者にとっては、補助制度なしでは購入できないのが実態。しかし、現行の障害者総合支援法では、軽度・中等度の難聴の方は認定を受けられず、補助制度から外されている。全国では自治体独自の補聴器購入制度が広がっているが、川南町でも、助成できないか。

**【答2：福祉課長】** 補聴器に代わるものとして集音器がある。宮崎県内では2か所の自治体で助成制度がある。

### 学校トイレに生理用品の設置

**【問3】** 私は何度もこのことについて質問してきた。いつから実施ができるのか。

**【答3：教育課長】** 新年度各中学校の方で実証実験を開始したい。

### 専決処分の取扱いについて

**【問4】** 道路の草刈りで、石が飛んで車を傷つけたとの説明、事故防止策はしないのか。

**【答4：総務課長】** 職員の連携及び対策については臨時庁議を開催し、問題発生の情報共有、発生防止対策等話し合う。

### 保育所一時預かり事業の補助金返還

**【問5】** 補助対象外であることが、なぜチェックできなかったのか。複数の職員で確かめるシステムの改善は、二度とこのようなことが起きないように対策はしたのか。

**【答5：福祉課長】** 補助事業に関しては、特に担当者だけでなく、複数の補助要件に該当しているか確認する体制が取られていなかったことが原因。問題が起きたときには、必ず臨時庁議を開催し、情報の共有を図る。

### 元気アップ事業の申し込み方法

**【問6】** 65歳以上の高齢者とその高齢者をサポートする人と記載があった。募集人員や料金、申込用紙のダウンロード方法もなく、わざわざ役場窓口に行かないと申込みができないのは、改善できないのか。

**【答6：福祉課長】** ホームページからダウンロードして申請ができるようになっている。福祉センターの窓口、庁舎の窓口申請書を置く。



## 川南町の臭い問題について

三原 明美

**【問1】** 現在進めている事業等を規模拡大する事業者は、必ず同意書が必要と言われたが、どんな場合にいるのか。

**【答1：産業推進課長】** 事業活動によって発生するおそれがある公害を防止する時。

**【問2】** 同意書は誰が作成して、その内容は。

**【答2：産業推進課長】** 産業推進課が作成。事故発生時に改善命令、立入検査等の条項を盛り込んでいる。

**【問3】** 同意は間違いはないか。確認はしているのか。

**【答3：産業推進課長】** 確認はしている。住民の不利益にはならないように協定は作られている。

**【問4】** 悪臭対策は徹底的に取り組むべき。悪臭対策課をつくるべきではないか。

**【答4：副町長】** ここで即答は出来ない。

### 中学校の通学路について

**【問5】** 昨年12月の定例議会で町長は「非常に真剣に受け止めている。来年の3月までには、暗い箇所を、防犯灯設置出来るように道筋をつけたい」と回答。その後どうなったのか。

**【答5：教育課長】** 一つの中学校から要望書がきたので、まちづくり課に要望。

### 公営塾について

**【問6】** 12月に質問した公営塾。子どもの学力は子供の将来を左右する大切な部分。その後、どのように考えたか。

**【答6：教育課長】** 現在は中学3年生を対象に公営塾に取り組んでいる。目標とするところが高校受験。英語と数学。90%が参加。

**【問7】** 延岡市では、子ども育成支援として、中学生



## 図書館指定管理について

小嶋 貴子

【問1】川南町が、図書館指定管理業者選定について、新聞掲載された。川南町は、現在までの10年間、文化ホール図書館業務を株式会社図書流通センター（TRC）に委託してきた。3月に契約が切れるためプロポーザル方式で入札が行われた。1月17日に審査があった。TRCが高得点を取り、指定管理業者として決定したが、書類不備で失格となった。

過去2回の選定の公募は10月に行われてきた。TRCの前図書館長は、「公募はまだか」と問い合わせを何度かされた。今回2ヶ月も遅れて12月に公募が行われたのはなぜか？フロンティアネットワークの設立はいつか。

【答1：教育課長】11月20日に指定管理者の募集をするように、副町長の方からそれまで募集を待つように指示を受けていた。この会社は令和5年12月1日が設立だ。

【問2】この会社の設立まで公募を遅らせていたのではないか。

何の不具合もなかったのに、指定管理期間を5年から3年に変えたのはなぜか。

【答2：副町長】そういった事は一切ない。社会的な変化が激しい中で、長期間の契約は私は好ましくないと。思う。

【問3】プロポーザル当日、勝ったTRCを「ホームページにあげます」と職員が言った時には、審査員全員何も言わなかったのに、後日、副町長命令で下ろさせたのはなぜか。

【答3：副町長】多分頭の中になかった。審査してはいけなかったんだと、その後気がついて担当に連絡した。

【問4】「1月14日に書類不備に気がついて付箋を貼っていて、1月17日、審査の日にうっかりして審査をしてしまった。審査が終わった後思い出した。」と言うが、忘れてましたで済む問題ではないと思う。副町長はどう思うか。

【答4：副町長】質問の意図がわからない。一連の流れで作業をした。

【問5】1月17日の審査の採点について、7名の審査員のうち3名が川南フロンティアに高い点数を入れている。1人は1点だが、1人は21点もう1人は25点の差をつけている。この2名は副町長と教育長。川南の図書館で10年の実績を積んだ会社と、昨年12月に設立された実績のない川南フロンティアとこれだけの差をつけて評価した具体的な要因は何か。

【答5：副町長】申請された計画の中を見て判断した。

【答5：教育長】たくさんの質問の中で答えた、記憶にほとんど残っていない。

【問6】2月臨時議会では地域にお金を落とす、フィルムコート川南町内の福祉施設でする、本を地元の書店から買うなど、副町長は言ったと思うが記憶しているか。

【答6：副町長】なんとなく頭に残っている。

【問7】川南町内に地元の書店があるか。

【答7：副町長】わからない。その会社の資料の中にそういう記載があった。私が本を注文するんじゃない。指定管理者が町内の方を通して購入されるということじゃないのか。

【問8】TRCは書類不備で失格となっている。副町長が教育長に同意を求めに来たのは何月何日か？同意を結ばれた場所、TRCを失格とした理由や、そのやりとりについて問う。

【答8：教育長】そのことについては全然記憶に残っていない。

に早い段階から数学と理科の基礎力を付けさせる為に市民、旭化成OB、企業、市役所、教員OB、一般市民の方々が全教科で授業支援を行っている。この取り組みをどう思うか。

【答7：教育課長】川南町においても学校運営協議会の中で、地域と学校と保護者が一体になり様々な活動を行っている。

## 持続可能な商店街について

【問8】12月に持続可能な商店街について質問したが、その後、どのように考えたか。

【答8：産業推進課長】様々な支援策を町として実施している。現在、商店街に新たに12月に1店舗、3月には3店舗さらに増えていく。軽トラ市でも人の流れが戻っている。キャンプ誘致も関西の方への営業の効果が、かなりの数の団体が視察に来ている。

【問9】経済産業省によると、巡回型支援と、パッ

ケージ型支援があり、専門家の派遣に要する経費は原則、内閣府が全額負担とのこと。このことを知っていたか。

【答9：産業推進課長】知らない。

【問10】商店街が何を求めているのか、もっと商店街に寄り添い、商店街の未来を広げていくプロジェクトチームを作り、国や県と連携して真剣に取り組んだらどうか。

【答10：副町長】要は、地元の方々のそういった事業の受け入れ体制が一番のポイント。

## 地震対策について

【問11】危機管理室の目的は。

【答11：まちづくり課長】今回、自衛隊OBの方が就任するので、防災・減災に備える事務方と被災した時に即効力を求める実務方が揃うことにより、防災、減災が進むものと期待できる。



## 教育行政について

中瀬 修

### 【問1】教職員のメンタルヘルス対策について

【答1：教育課長】メンタルヘルス対策として、職員も行うストレスチェックを実施している。高ストレスの結果が出た場合、医師に相談するように指導している。全体的な傾向をデータ化し、この学校ではこういう傾向があるなど教職員のメンタルヘルス対策に役立てている。

### 【問2】町内小中学校の教職員の病欠の現状について

【答2：教育課長】令和6年3月1日現在、育休、休職者の数が7校で8名。

### 【問3】対策について

【答3：教育課長】メンタルダウンは、やはり忙しさがある。慢性的な教職員不足も一つの原因と考える。教職員の補充は、学校長、教育委員会も手を尽くし、職場環境を整える努力はしている。教職員不足は川南町だけの問題ではなく厳しい状況が続いている。復職は、校長先生が聞き取りをしながら対応している。診断書の期間間近になって聞き取りをしながらその時期を進めている。

### 【問4】教育長就任直後の出張について

【答4：教育長】副町長と就任直後に、衆議院議員第2会館に前政調会長萩生田光一氏と会った。教え子でもあり、副町長が話をした。私は帯同しただけ。

### 【問5】教育長の積極的な政治運動について

【答5：副町長】自治体は補助事業を探す。そのために東京に陳情に行くなどマスコミ等でも承知である。顔見知りということもあり、教育長を同行させた。補助事業約1億、スマートインター関係も何億かわかからないが教育長にお願いした。

## 町文化ホール及び図書館の指定管理者の指定について

【問6】プロポーザル審査において教育委員会はTRCを1位と認めているか。

【答6：教育課長】認めている。(1位と)決定した。

【問7】失格を決定した時点とは。

【答7：教育長】日時は不明。記憶にない。

【答7：副町長】日時は覚えていないが、町長室で、教育長、私、町長で決定した。

【答7：教育課長】教育委員会として、あくまでもプロポーザル審査の結果に基づき、教育長まで決裁を取った上で、差し替わる前の議案の提出を行った。図書館流通センターで教育委員会としてはその時点でも失格ではないということで議案を挙げた。

【問8】事務的不祥事があったと考えるか。

【答8：副町長】私が回るのではなく全委員を集め、再度委員会を開けばよかった。知恵が働かず日にちがなかったことで私が回った。

【答8：教育長】もう少し時間をとり、状況を把握し共有しながらやるべきだった。

【問9】瑕疵があったのか。

【答9：副町長】後で気がついた。どうしようもないと思っている。

【答9：教育長】思慮深く知恵を振り絞り共有すべきであった。

【問10】ルール違反は。

【答10：副町長】言っている意味が分からない。

【答10：教育長】そこまで考えられない。

【問11】顧問弁護士への相談内容は。

【答11：副町長】本来だと回るのではなく、もう一度、会を開くべきだったと言われた。

【問12】弁護士からの呼び出しはなかったか。

【答12：副町長】なかった。

【問13】弁護士との話の内容は。

【答13：副町長】総務課、教育委員会の職員で行った。



## サンA文化ホール指定管理者「総合教育会議」とTRCに提出した「失格理由」の相違

徳弘 美津子

【問1】(1月22日の)総合教育会議で副町長が「プロポーザルでTRCと決定したが川南フロンティアネットワークにする」と発言した。その理由として「①地元の人材を育成。②館長候補として、県内在住で、以前、本施設の館長をされた方を考えている。③点差が4点の僅差だった」と言っている。(臨時議会での失格理由の)「積算根拠がない」という話以前に、総合教育会議でこの様に言っている。(副町長の)自分の考えの中であったと思うが。

【答1：副町長】あまりにも何かこじつけたような言い方をするが、なぜそういうふうに捉えるのか、私は分からない。

【問2】この3つの項目を言ったのは事実か。

【答2：副町長】議事録に書いてあればそうだと思う。

ただ、発言の内容は、人間、その時々で変わる。一般的な話をしたのは、私は覚えている。

## 教育長は審査会にどう臨んだか

【問3】図書館指定は教育委員会が所管する。プロポーザルの審査を受けるときに、事前に書類の読み込みとかはされたか。今回の一番の大きな(失格)問題が書類不備だ、教育長は読み込まれたか。

【答3：教育長】私の机に封筒入りの資料があった。それが審査会の資料だとは知らなかった。指定管理者の候補を選考する委員会とは知らず、初めてそんな大事な会議であるんだなということで、それ以前に、私の教育長室に茶封筒が置いてあった。当日、教育課長のほうから選考委員会に行きましょうということで、そこからぱっと目を通しながらそれを確認してということが事実である。

【問4】副町長は事前に読み込んで、書類が不備だということで付箋をつけていた。当日、開けてみてという世界が、教育長としての責務、この指定管理者



## 図書館複合施設の不可解な 管理者選定手続きを問う

中村 昭人

**【問1】** 図書館複合施設の指定管理者の決定は新聞報道でもあったとおり、極めて不可解な手続きがあったと考える。審査員全員の同意を得たという虚偽の公文書によって失格としたが、なぜ嘘をついたのか。

**【答1：副町長】** 全員と書いたのは私の勇み足。だからお詫びをした。

**【問2】** 1月10日締め切りの申請書類に積算根拠がないと判断して、教育長に相談をしたと2月の全員協議会で発言をしている。積算根拠がないから失格だと相談したのか。

**【答2：副町長】** それに近い話をしていると思う。

**【問3】** 町長に報告して了解を得たようだが、町長は失格だと言ったのか。

**【答3：副町長】** 一言一句覚えてないが、それに近い言葉を言った。

**【問4】** その会話が本当かどうか極めて怪しい。副町長が審査翌日の1月18日に事務方に宛てたメールに「昨日の審査の前に気がつけばよかったのですが、募集要項に追加してもらった積算根拠が、TRCの資料の中にないのではと気がつきました」とある。ということは、プロポーザル審査前には積算根拠がなかったことは気がついていなかったのでは。

**【答4：副町長】** そのメールはどこから入手したのか。

**【問5】** 2月の全員協議会の中で事務方が議員の問いに答えて、副町長から届いたメールを読み上げた。その内容だ。

**【答5：副町長】** 2社の資料を見てTRCの積算根拠のところに付箋を貼ったのを覚えている。それを1月17日の審査の前に言うつもりが、なぜか頭から飛んでしまって終わった後に気がついた。どう言ったら信じてもらえるかどうか分からないが事実だ。

**【問6】** 町村会の顧問弁護士に何と言われているのか。

**【答6：総務課長】** 全員の同意を得ていないということであれば、再度集めて会を開いて失格かどうかの判定をするべきだったと。失格とした手続には大きな不備があり、何らかの責任は免れないというふうな意見であった。失格を撤回するかどうかは町が判断することであるとの助言を頂いた。

## 災害時の高齢者や障害者への避難対策を問う

**【問7】** 高齢者や障害のある人たちなど、自ら避難することが困難な避難行動要支援者のための個別避難計画の作成が市町村の努力義務となったが、策定状況は。

**【答7：福祉課長】** 個別避難計画を作成する対象者は、65歳以上で障害者手帳を持っている方と、要介護認定で要介護3以上の認定を受けている方で、一人暮らし高齢者と高齢者のみの世帯の高齢者及び民生委員が避難困難者として把握されている方。町内全域で621人の方が該当し、現在は通浜地区の要支援者の方1名分の計画を策定している。

**【問8】** 今後の進め方は。

**【答8：福祉課長】** 川南町のハザードマップで危険とされている地区である通浜、伊倉、高森、松原、浪掛地区の方を優先して作成していく。名簿をもとに自宅を訪問して説明を行い、必要な情報を聞き取る。現在は通浜地区の自主防災会と民生委員の方たちの協力を得ながら、通浜地区の避難行動支援者45人の計画を作成し始めているところ。

**【問9】** 今後の地域づくりに防災という柱を添えて、自治公民館長、民生委員、消防団、そして自主防災組織等とこの個別避難計画を共有する。こういうことで災害にも役立つ計画にすることが大事だと考えるが。

**【答9：副町長】** おっしゃるとおり。町長とも少し話を始めたところだ。

は教育委員会のほうで審査した、主導権がある。それに向けて職員が動いている。それは、教育長は全く当日しか分からなかったと。それが本当の言葉でいいか。

**【答4：教育長】** 事前に説明があれば少しは理解できた。私の机上には決裁事項等々が山ほどあって、いろいろ頭がいっぱいで、私は教育長として採決で行く、採決行ったときに初めてそこで選考委員だということで、2つの書類に目を通しながら、それで急遽いろいろと採点をさせていただいたという、それが現実。教育長としては本当に失格、能力の不足。

**【問5】** 副町長が総合教育会議で点差が4点差だったということも、(TRCが失格)理由の一つに挙げている。点数のつけ方は覚えているか。教育長はTRCにマイナス21点とした

**【答5：教育長】** 私はTRCについても悪い点数はつけていないと思った。両方ともよい点数をつけた記憶はあるが、具体的には覚えていない。

## TRC失格理由の積算根拠の書類不備について

**【問6】** フロンティアネットワークの積算根拠は、実績も何もないのになぜ出すことができたのか。その積算の信憑性はどうか。副町長がそれを見て本当にこれはいいと思ったのはなぜなのか。この積算根拠、実績もないところでなぜ出すことができたか。

**【答6：副町長】** 逆にそれは私が聞きたい。その会社は何に基づいて作成されたのだろうと思う。

**【問7】** 新たな事業者が新たな事業をするときには、ある程度の積算根拠のお手本がないとできないと思う、町がある程度、指針の中で見せるようなことはなかったのか。

**【答7：教育課長】** 説明会の際に、あらかじめ積算書のほうを作成して配布している。プロポーザル審査というのは、金額で審査をするのではなく、提案の内容で審査をする。基本になるのがTRCの実績。TRCにも断って、応募された方に配ってから、資料にさせていただくと断った上で配布した。



## 小学生生徒数の減少について

河野 禎明

【問1】新年度の多賀小学校、山本小学校は、複式学級が発生するということを保護者から聞いた。これに対して教育行政はどのような対応を準備したのか。

【答1：教育課長】本年度も多賀小学校、山本小学校は複式学級が存在している。こちらに関しては別に先生を雇い入れて複式学級の解消を今年度は行っている。

【問2】今、私が心配している事は、コロナが発生してから子供の出生数が80名位。これを考えると、子供たちが小学校に入学し、6年生になった時、約480名。中学校になれば、240名位で生徒数の減少を解消するには、例えば、テレビでサスケと言うスポーツ番組があるが、中学校のそばに部活ができるサスケの施設を作れば、全国から50名位の中学生が川南に来ると思う。

毎日部活でサスケの練習ができるとしたら大変な評判になる。北浦町にはサスケのスターと言われる長野さんがいる。長野さんの中学生の息子さんは、昨年サスケの第一ステージを通過した。今全国の中学生がサスケに大変な関心を持っている。川南町は、このサスケ部の導入を検討すべきと思うが。

【答2：副町長】そのアイデアで正直驚いている。町長が復帰したら相談をしてみる。

## サーフィンセンター改修計画について

【問3】サーフィンセンター改修計画はチームが作られて構想を練っていると聞いているが、今の進捗状況はどうか。

【答3：産業推進課長】サーフィンセンター伊倉浜自然公園全体の見直しをしている。今伊倉浜公園の中に私有地が少しある。そちらの取得を進めているところ。それが取得できれば基本計画を策定したいと思う。

【問4】サーフィンセンター改修計画をするには、サーファーで町内に移住で来られ方、町内でサーフィンする人の意見を聞くことが大事だと思う。

【答4：産業推進課長】改修計画を作っていく段階で、どのような方法になるか分からないが、検討委員会なのか、例えば全体から意見を聞くパブリックコメントなのか、そういったことを含めて様々なところから意見を聞いていきたいと思う。当然サーフィンをされる方の意見もお聞きしたいと思う。

【問5】サーフィンセンターには必ずキャンプ場が必要。どういうキャンプ場が喜ばれるか。これからは温水、シャワー、サーフボードのレンタル用、それからテントの貸し出し、バーベキュー用具の貸し出し、そういうことも考える必要があるのではないか。

【答5：産業推進課長】最近キャンプをされる方は、非常に多くてキャンプ場というのが必要だと思う。それ以外のリース用品についても、その計画の中でこういったものを整備していくのかと言うのは考えていくことなのかと思っている。



## 人口減少対策

荻原 敏朗

### 人口減少現況認識とデッドライン設定を

【問1】人口が減少すると自治機能が失われ地域の維持も困難となり、社会生活インフラコストも上昇する。前町長は感覚的には1万5千人位と言われたこともあったが、川南町の維持に必要な人口デッドラインを設けてのまちづくりが必要では。

【答1：副町長】人口が昭和60年頃から4千人減少しており、当然歳入も減り弊害が生じる。特効薬は無いが取り組んでいかなければならない。

【答1：まちづくり課長】国の人口問題研究会では本町の2050年人口を9,640人と予想しているが、町人口ビジョンでは11,095人を目標している。調査会の推計値と比しても人口ビジョン目標は達成できていない。

### 今後の課題

【問2】町の予測より人口減少速度が早ければプランの修正も必要。本町の人口減少対策のキーワードは農業だと思うし、町のポテンシャルを生かす方法だ。しかも他に先駆けてこそ効果があるのでは。

【答2：産業推進課長】本町ではトレーニングハウス事業で20代、30代の若い方が新規就農し期待している。また産地パワーアップ事業を実施し、新規就農・後継者対策にも取り組んでいる。

### 農業現状

【問3】やられていることは評価するが、既存農家が離農しない策等、追加の施策が必要では。費用対効果を考慮し、\*AI・DX・GX化対応や畜産の品質向上策や外国人労働者の対応等も必要と思うが。

【答3：副町長】農業政策に専念する農政企画係設置や工場誘致担当を考えている。

【答3：産業推進課長】高齢母牛補助等はやってきたが今は受精卵移植が主で、現代にあった補助の在り方を考える。



## 役場の事務の見直し、そして、レベルアップを望む

乙 津 弘 子

【問1】まず、職務怠慢で源泉徴収漏れの8万円の延滞金を支出

2点目は、保育所への町・県・国の交付金の誤認による措置、

3点目は、第2鶏ふん発電所の申請受理の件。同僚議員の質問に対し、町長が「申請書を受理していない」と答弁した後、実は受理していたことが判明した。

4点目は、図書館の指定管理者の選定委員の情報公開、不適切に思える事務処理。

5点目は、私が危うく公文書偽造の犯罪者にされそうになったこと。さきの2月臨時議会において、私は、内藤議員とともに議事録署名議員に。ところが、この議事録の書換えを同僚議員に求められた。それは、図書館の指定管理者の議案の一般質問において、その議員いわく、「私が議会において発言した図書館の選定委員の名前を議事録から消したい。委員に迷惑をかけるから」という理由。勿論、二人とも断った。

署名した議事録は公文書に。従って、議事録の書換えは公文書偽造になり、刑法第155条に定める犯罪。1年以上10年以下の懲役、罰金刑はないという大変な犯罪。議会報告会で、意見箱の投書を隠さないという当たり前の約束をしたばかり。意見箱は町民のもの。署名をした議事録は公文書、永久保存で、町民のもの。

図書館の件について、ずっと公文書偽造と言い立てているが、あれは執行部の手違い、間違い、ほか。

議事録改ざんこそ公文書偽造そのもの。同時に、このやり取りは議会事務局でなされたが、事前を知っていたと思われる事務局長等の職員が、違法行為をとどめる等の行為をしなかった対応は、地方公務員法第32条の法令遵守義務を怠った行為ではないか。役場の業務ミスは、役場内部だけの問題にとどまらず、町民全体の生活に影響を及ぼすので、まず法令遵守、そして常日頃からの見直しとレベルアップが必要だと思う。

【答1：総務課長】発生したミスについては、その時の発生の重要度に対応して、臨時庁議を開催して、情報共有と再発防止策を話し合うようにしている。それ以外は、通常は、職員間で課内ミーティングを開いたり、また軽微なものについては定例の庁議等で情報共有を図って、できるだけミスがないように取り組んでいきたいと考え、日々業務に当たっている。

### みんなの学校

【問2】この4月1日から「孤独・孤立対策推進法」が施行される。施行の一つとして「みんなの学校」を提案する。多くの人が自由に来て、自由に過ごせる場所。不登校の子供たち、障害を持っている子供たちや大人、ひきこもりの人たちも同様。そして、長い中学校問題の中で不問にされていた感じがする多くの高齢者たちも。役場の機関と一緒にみんなの学校プロジェクトチームをつくれたら。

【答2：教育長】教育委員会には私を含め5名のスタッフ、教育課は三好教育課長中心に16名のスタッフ。これ、とても未来的に考えれば大切なことかと思う。で、会議を持って、善処の方向へ持っていけたらなということを感じたので、2つの委員会のほうで検討していきたい。

### 作目模索

【問4】飼料高騰対策のため地産化やオーガニックの推奨、鹿屋柳谷集落の遊休農地を活用した甘藷生産による焼酎生産等研究することはいくらかでもあるのでは。

【答4：産業推進課長】町内にも有機農業農家があり意見を聞いてグリーン化を進めたい。焼酎生産はサンAにも聞いたがなかなか難しいと、また観光協会が生産しているが売り切るのが困難とのこと。

### 挑戦の気概を

【問5】何事も簡単にいくことはないだろうが、座して死を待つより打って出るべきではないか。静観の余裕はないのでは。

【答5：副町長】町長が退院したら町長に話をして進めていきたい。

### 職員教育

【問6】町の職員は試験を経て採用された人達だが、優秀な種子も適切な肥料や水が必要だ。近年、事務上のミスも見られるが職員教育の現状は。人事評価

に減点評価だけでなく加点評価を採用すべき。

【答6：総務課長】人材育成方針を定め、人は最大の経営資源の認識で町村振興協会の研修や自主研修を実施。ミスが生じたら臨時会議で再発防止を話し合い共有している。

### 基幹デジタルシステム統一

【問7】国は地方自治体のデジタルシステム統一を謳っているが、どのような内容で進捗は。事前に町民に十分な説明を。

【答7：総務課長】令和8年度から、自治体のデジタルシステムを統一するもので、今のシステムでできる事等をチェックしている。町民には戸惑いが起きないように対応する。

- ※ AI (アーティフィシャルインテリジェンス)  
……人工知能技術
- DX (デジタルトランスフォーメーション)  
……デジタル技術を活用した取組み
- GX (グリーントランスフォーメーション)  
……脱炭素等地球にやさしい取組み



## 小中学校の学力向上施策

田中宏政

**【問1】小中学校の学力向上について、教育長の考えを問う。**

**【答1：教育長】** 学校・教育委員会・家庭・地域の4つの組織が連携・協力しながら、子供たちを育てる。また、子供の能力に応じた勉強方法を見つけ、予習・復習を大事にし、中学生では学年プラス1時間は最低で家庭学習の時間が必要であり、学校と家庭が協力し子供の学力を向上させる。

**【問2】学校間連携について、川南町の取組は。**

**【答2：教育課長】** 小規模校が連携して、各学校が持っている様々なソフトやハード面のものを共有することは、非常に大事な考え方と思う。ニューフロンティア研究会を設置し、町内の小中学校が課題を共有し連携しながら活動をしている。特に小学校から中学校の教育にスムーズに入れるように連携している。

**【問3】低学力層へのケアについて、補助指導員・学習支援ボランティアの導入は。**

**【答3：教育課長】** 川南町教育研究所を設置し、教員の資質向上、授業の研究等を行っている。学習支援サポーターを令和6年度から両中学校に各1名ずつ配置し、学力向上の支援体制を整えていきたい。また、学習支援ボランティアについては、導入について調査し、前向きに検討していきたい。

**【問4】英語力向上についての取組は。授業を英語で行ってみたいはどうか。**

**【答4：教育課長】** 主導的に授業を英語で行うまでには至っていないが、ALTを2名配置し、ネイティ

ブな英語に触れる取組みをしている。また、公費で英検・英検ジュニアが受験でき、英語力向上に取り組んでいる。

**【問5】複式学級について、どのような対応を考えているのか。**

**【答5：教育課長】** 授業だけ行う先生を雇用し、同じ教室で2学年一緒に授業をすることのないような対応をする予定である。

## 農業振興について

**【問6】これまでの耕作放棄地への取組みと成果は。**

**【答6：農地課長】** 川南町農地活性化プロジェクトを立ち上げ、農業委員会が主体となって、ソバ・サツマイモ・モチ米の作付けを102ヘクタール行った実績があるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、現在は中断されている。

**【問7】農家の高齢化問題について、本町の取組みは。**

**【答7：産業推進課長】** 本町の農業従事者の約46%が65歳以上となっている。トレーニングハウスを利用した新規就農者のピーマン研修事業に取組み、令和6年3月現在時点で24名を受け入れている。JA尾鈴ピーマン部会では、60歳以上が約17%、49歳以上が66%となっており、トレーニングハウスが農家の若返りの一翼を担っている。

## 保育園補助金返還は

**【問8】保育園一時預かり事業補助金返還について。**

**【答8：福祉課長】** 保育園の対応については、補助の対象ではなかったことが分かった時点から数回にわたって丁寧に経過の説明・謝罪をしている。福祉課として、誠意をもって対応したいと思っている。

## 議会事務局より

## ～人事異動のお知らせ～



谷 講平 議会事務局長

令和6年4月の定期異動により、議会事務局長の職を拝命しました。初めての部署になりますが、円滑な議事運営、また議員の皆様が効率的に活動していただけるよう、事務局として精一杯努めて参ります。

よろしくお願いいたします。



竹崎友美 書記

令和6年4月の定期異動により議会事務局へ着任しました。議員の皆様と一緒に町のために職務に取り組んでいきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

新倉好雄 前事務局長

このたびの定期異動により農地課へ異動となりました。

議会事務局在任中は町議会議員の皆様、町民の皆様には大変お世話になりました。

今後も議会事務局での経験をいかし努めてまいります。

山元ふみ 前書記

令和6年4月の人事異動により、福祉課へ異動となりました。

5年間、大変お世話になりました。議会事務局で学ばせていただいたことを今後に生かしていけるよう頑張ります。

ありがとうございました。

# 「移住定住政策、子育て支援策、地域づくりを先進地に学ぶ」



各議員の報告書はQRコードからご覧になれます。

令和6年1月18日から2日間の日程で宮崎県三股町、鹿児島県鹿屋市及び東串良町を訪れた。川南町の人口は令和4年には15,000人を下回り、現在は14,630人ほどとなっている。人口減少や高齢化、また地域力の低下といった課題は日本全体の課題とも言えるが、少しでも人口減少スピードを緩め、持続可能な地域づくりを実現するため先進地での取り組みを学んだ。

## 👉 主な研修の内容

宮崎県三股町 人口25,470人

### 「過疎地域定住促進奨励金」

町が指定する過疎地域（長田小学校区）の人口増加に注力した政策。新築・購入奨励金、転入転居奨励金制度を設けている。

鹿児島県鹿屋市 人口99,672人

### 「かのや移住サポートセンター」

関係する課から職員が配置され、移住定住はもちろん、仕事や出会いの場づくりまで一体化したサポート体制となっている。様々な相談事にしっかり寄り添う姿勢が表れていた。

鹿児島県東串良町 人口6,470人

### 「定住促進住宅用地貸付事業」

町が農地等を買収して造成し、宅地として子育て世代に貸し付ける。毎年借地料を支払い20年後には住宅所有者のものになる。分譲地周辺には商業施設も進出。令和5年9月1日現在で193区画に199世帯が住宅を建設し、662名が暮らす。

鹿児島県串良町 柳谷町内会(やねだん)集落人口 211人

### 「行政に頼らない感動の地域づくり」

平成8年に自治公民館長に就任した豊重哲郎氏(82)。休耕地でのさつまいも栽培、土着菌を活かした飼料づくり、自作の黄金千貫を使った芋焼酎「やねだん」販売(通販)などの地域資源を使い、住民が汗を流して自主財源確保に取り組む。2006年には全世帯に1万円のボーナスを配った。



## 視察研修を終えて

それぞれ特色のある移住定住対策が図られていたが、中でも定住促進住宅整備事業は、これから直面する小中学校統合による跡地活用を考えるうえで大変参考となった。また、移住定住政策をより価値あるものにするためには、単に人の奪い合いに終始するのではなく、移住者はもちろん、住民ニーズに合致した効果的な政策提言に努めなければならないと思いを新たに研修となった。

# 議会報告会

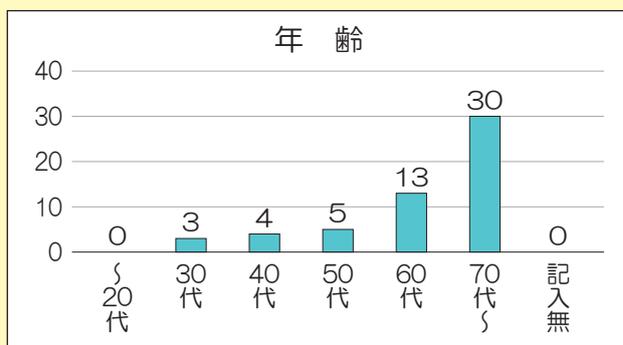
## 4年ぶりの開催に96人の参加

令和6年2月9日川南農村改善センターで第4回議会報告会が開催され、議長の挨拶の後、各議員の自己紹介があった。

今回の報告会は令和5年度議会で賛成・反対討論のあった議案について概要や経過報告を行い、その後質疑応答となった。

- ① 新中学校統合整備基本計画の廃止について
- ② 町営プール再開に向けた改修計画・実施設計委託料について
- ③ 町営文化ホール・図書館複合施設の2024年度以降の指定管理者指定について

参加者96名中55名の方から回答（回答率57%）



**おしらせ** 6月議会のご案内  
**6月7日～6月18日(予定)**  
 一般質問予定 **6月11日・12日**  
 ぜひ傍聴にお越しください。

### 川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人口	転入	転出	自然増減		世帯数
				出生	死亡	
令和6年2月	14,593人	20人	37人	6人	43人	6,075世帯
令和6年3月	14,539人	37人	70人	6人	17人	6,067世帯
令和6年4月	14,495人	62人	140人	3人	20人	6,054世帯

### 編集後記

一陽来復、川南台地のキャンパスに野や木々の花々が彩り豊かに目を楽しませてくれている。今は、新緑が初夏に萌ゆる準備を始め季節は進む。少し振り返ると国内外では新春から予測のつかない事態が起り続けた。新年早々の震災、航空機事故、110年振りに新入幕力士が優勝、メジャーリーグ元通訳の賭博窃盗事件、東町長の入院による町長不在の3月議会。春は何かと荒れるらしいが、2月臨時議会、3月定例会では、図書館の指定管理者の指定において甲論乙駁（こうろんおつぱく）があった。新指定管理者においては、何よりも町民の為により良い運営に期待を寄せる。また、東町長に於かれては、まずは治療と十分な養生に専念され早期の回復と現場への復帰を祈念する。

中瀬 修

《委員長》徳弘美津子 《副委員長》中村昭人 《委員》乙津弘子、内藤逸子、児玉助壽、中瀬 修

【編集・発行】宮崎県川南町議会 〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1 TEL 0983-27-8017  
 【発行者】川南町議会議長 【編集者】議会広報編集特別委員会 【印刷】ヤマキ印刷